



日吉の所有するトヨタ・MIRAI（水素カー）の写真が『第6回EV・PHV・FCV写真コンテスト』（実施：関西広域連合）に入選

本社：〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908 TEL(0748)32-5111(代) FAX(0748)32-3339 / 東京支店：〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 TEL(03)5772-6073(代)

表彰 「新・ダイバーシティ経営企業100選」に滋賀県企業で初受賞 2017.3.23

「新・ダイバーシティ経営企業100選」（経済産業大臣表彰）は、平成24年度に開始された「ダイバーシティ経営によって企業価値向上を果たした企業」を表彰する事業です。経済のグローバル化や少子高齢化が進む中で、多様な人材が最大限の能力を発揮して活躍することが求められ、ダイバーシティ経営に向けた積極的な取り組みをする企業を評価・表彰し、ベストプラクティスとして発信することで、ダイバーシティ推進のすそ野を広げることを目的として実施されています。

本年は、応募総数122社から31社が選出され、そのうち中小企業が18社で、平成24年からの本事業開始以来初めて、地方企業や中小企業が選定数を上回りました。日吉が長年取り組んできた外国人社員の登用や、いち早く導入した在宅勤務制度、そこからもたらされた成果が評価され、滋賀県の企業として初めての受賞に繋がりました。



経済産業省
新・ダイバーシティ経営企業100選
ロゴマーク



ダイバーシティ経営

単に海外人材や女性の就業スタイルを変えるだけでなく、それぞれの持つ多様な価値観や能力を持った人材の能力とやる気をフルに活用する職場環境や機会を創出することです。（経済産業省ダイバーシティ経営企業100選ホームページ（<http://www.diversity100sen.go.jp/>）を加工して作成）

化学分析技能士 成績優秀賞を受賞 2016.11.22

平成28年度滋賀県技能技術大会の技能検定を受けた技術部ダイオキシソ松田 涼社員が、県知事より成績優秀賞を受賞しました。

海外事業

インド訪問 2017.2.15～2017.2.24

日吉社員3名が子会社のあるインド・チェンナイを訪問し、展示会への参加、子会社のラボ視察のほか、多くの元インターンたちとの再会を果たすことができました。現地の状況は、突然の高額紙幣の効力停止、州首相の死去と後任首相の辞任・交代といった不安定な政権、時速130キロ超の巨大サイクロンからの復興、さらに深刻な水不足と、昨年からの課題も含め、今も人々の生活やビジネスに影響していました。



元インターンたちとの再会



インドにてWATER EXPO 2017へ参加

環境省アジア水改善モデル事業

ベトナム

2014年度に環境省の採択を請けた「水産加工工場における排水処理の水質と施設運営の改善事業」が終了しました。最終年となった今年度は有機汚濁物質に加え窒素除去機能を追加した試験装置による実証試験を行い、高い窒素除去効果を確認することができました。またクラゲール®導入の営業とIoTによる遠隔O&Mビジネスの実現に向けた活動を実施しました。



JICA草の根事業

ベトナム

2015年3月のキックオフ以来、さまざまな活動を展開してきたJICA※1草の根事業※2の、現地での活動を締めくくる最終セミナーと環境フォーラムが盛大に開催されました。最終セミナーでは、日本側メンバーによる2年間の取り組み成果の発表や記念品交換、写真撮影等が和やかに行われ、さらに友好を深めることができました。また「カットパ島のグリーン成長」をテーマにした環境フォーラムでは、開会式に続き、船着き場や広場周辺の一斉清掃をおよそ500名で約2時間にわたって行いました。

※1：独立行政法人・国際協力機構

※2：観光島カットパの水環境改善に向けた協働体制づくりの協力支援



インターンシップ



日本・アジア青少年サイエンス交流事業 2016.11.02



「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」の一環として、大阪府立大学の前田名誉教授、飛田准教授とともに同大学学生とベトナム国家大学ホーチミン校の学生が来社し、会社紹介と分析室を中心とした社内見学を実施しました。ベトナムは経済の急成長に伴って環境問題が深刻化しており、日吉を訪れた学生達は高性能の精密分析装置に強い関心を示しました。

さくらサイエンスプラン

アジアと日本の青少年による科学技術を通じた交流事業です。日本の最先端科学技術への関心を高め、日本の大学、研究機関や企業が求める優秀な人材の育成を促進。アジア地域の科学技術発展への貢献を目的としています。

産学国際協働PBLプログラム 2016.12.13

立命館大学は、2014年より「産学国際協働PBLプログラム」を実施しています。インド(インド工科大学ハイデラバード校、IITH)・日本(立命館大学)の学生双方が両国の違いを理解し、課題を解決する中で技術者として世界で活躍できる人材を育成することを目的とした文部科学省助成事業です。

日吉は、この事業における外部評価委員として任命されていることから、さまざまな活動に協力しています。IITHの学生を受け入れ工場設備や水処理技術の紹介を行いました。



国内 ■ 瀬田工業高等学校 ■ 八幡商業高等学校 ■ 八幡中学校 ■ キャリアプラザビットより研修生受入れ

学会発表・講演



第16回世界湖沼会議 報告会 2017.2.8

2016年11月にバリ島で開催された第16回世界湖沼会議の成果を広く共有・フィードバックするとともに次回における滋賀県の取り組みの世界への発信・PRについて意見交換を行うことを目的として環・びわ湖大学・地域コンソーシアム会議室にて開催されました。当社の社長村田 弘司がパネラーを務め「地元NPO、大学、役所と連携し、海外を交えた体験が必要」と、横の連携による新しい学びの機会を提案しました。



■ 第75回日本公衆衛生学会総会でポスター報告

演題 レジオネラ属菌検査における前処理法の検討
 演者名 近藤 昭宏(技術部顧問)
 会場 グランフロント大阪(大阪府)

■ 第47回滋賀県公衆衛生学会で報告

演題 魚類急性毒性を用いた琵琶湖固有種における毒性試験評価
 演者名 松田 涼(技術部 ダイオキシシン係)
 会場 ピアザ淡海(滋賀県)

社会貢献



環境美化活動の日 2016.12.2

名神高速道路竜王インターチェンジ周辺の道路で行われた環境美化活動に参加しました。

活動を通じ、普段の生活の中での環境美化に対する意識や行動の大切さを参加者全員で共有しました。



あかこんバス運行スタート 2017.1.10

日吉が近江八幡市に寄贈したあかこんバスの運行が、2017年1月10日からスタートしました。爽やかに描かれたびわ湖や水郷、滋賀県の鳥でもあるカイツブリの描写が特徴です。



あかこんバス運行協力応援感謝状贈呈式にて感謝状を賜りました。

チャリティーバザー 2017.1.6~2017.1.18

淡海フィランソロピーネット第4回チャリティーバザー「カレンダー」「手帳」市に協力し、収益で「栽培キット」を購入し、滋賀県内の小学校に寄贈しました。



パッカー車お披露目 2017.3.4

近江八幡市立八幡小学校4年生が、ゴミ学習を終え感じたこと、将来どのような地球になったら良いかをイラストにした、パッカー車が同校で披露されました。



- 用紙：琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー 適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ：大豆油インキを含む植物油インキ
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造、廃棄に発生するCO₂を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済
- CO₂排出量：169.874kg/3,000部